

🔔 交流会ご案内 🔔

『スノードームを作ろう♪』

絵を描いたコルク人形を使ってスノードームを作ります！



日時 ☆ 令和6年12月14日(土)、午前10時～12時00分
【受付】 午前9時45分～

場所 ☆ 富田林市役所 地下903会議室

講師 ☆ 小田 仁美さん

内容 ☆ コルクに色えんぴつで絵を描きスノードームを作ります。
作った作品はお持ち帰りください。(グルーガンや水のり、小さなパーツを使用します。)

対象 ☆ 3歳 ～ 小学6年生のお子さん

定員 ☆ 児童10名 (定員に達し次第締め切らせていただきます)

参加費 ☆ 無料

申込期間 ☆ 令和6年12月6日(金)～12日(木)まで

申し込み ☆ 下記二次元コードにてお申込みください。



※ なるべく公共交通機関をご利用ください。
やむを得ず車で来られる場合は、市役所駐車場をご利用ください。

第91号ファミサポだより

令和6年11月



発行：〒584-8511 富田林市常盤町1番1号
富田林市ファミリー・サポート・センター
TEL 0721-25-1000 (内線283)
FAX 0721-24-8976

ホームページアドレス <http://ton-ton.jp>

Eメールアドレス k-seisaku@city.tondabayashi.lg.jp

長く暑い夏も終わり、過ごしやすい季節になりました。

同時に気温も下がり、感染症の流行が心配もありますが、生活習慣を整えながら体調管理をしましょう。

秋は何をするにも気持ちの良い季節なので、外で体を動かしたり、芸術にふれてみるのも良いかもしれませんね♪

令和6年10月31日現在

依頼会員 123名

援助会員 67名

両方会員 12名

合計 202名

活動件数 ◆5月 71件 ◆6月 57件 ◆7月 64件 ◆8月 30件 ◆9月 53件

11月は児童虐待防止推進月間です

～189（いちはやく） それは、親子の未来を守る相談～



児童虐待とは、親または親に代わる保護者が子どもの心身を傷つけるなど、健全な成長や発達を妨げる行為のことをいいます。

富田林市では、「要保護児童対策地域協議会」を設置し、関係機関が連携し、虐待の防止や状況の改善に努めています。

身近にこんな子どもはいませんか？

- 不自然なあざや傷がある
- 衣類や体がいつも汚れている
- 暗くなっても外を歩き回り、家に帰りたがらない
- 長時間、外やベランダなどに出されている



児童虐待の早期発見には、皆さまからの通告が必要です。通告者や相談者のプライバシーは厳守されますので、虐待を受けていると思われる子どもを見つけたときや、ご自身が子育てなどで悩んだときは、下記相談窓口にご連絡、ご相談ください。

- 児童相談所虐待対応ダイヤル 189（365日、24時間、通話料無料）
- 子育て応援課 0721-25-1000（相談係）
（祝日、年末年始を除く月～金、午前9時～午後5時30分）
- 大阪府富田林子ども家庭センター 0721-25-1131（代）
（祝日、年末年始を除く月～金、午前9時～午後5時45分）

前回講習会の報告

テーマ：子どもの事故防止及び救命講習(入門コース)

日時：令和6年7月26日(金) 午前10時～11時45分

講師：市保健師及び消防署職員



安心・安全に援助活動を行っていただくため、子どもに多い事故と早期認識、一次救命処置の大切さを学ぶ講習会を開催しました。援助・両方会員の皆さまは、5年に1回受講必須となっている事もあり、たくさんの援助・両方会員さんにご参加いただきましてありがとうございました。

【 救命講習 】

「気道異物による窒息」とは、気道に食べ物が詰まるなどで息ができなくなる状態になることであり、大切なことは、窒息を予防することです。乳児や高齢者には、食べ物を細かくきざんで食べさせるようにしましょう。親指と人差し指でのどをつかむ仕草は、「窒息のサイン」と呼ばれており窒息に気がつく大きなきっかけとなります。

その際、患者に反応がある場合は、患者の後ろから左右の肩甲骨の中間あたりを力強く叩く背部叩打法と、妊婦や乳児には行わないですが腹部突き上げ法という異物除去方法があります。乳児に対しては、口の中を確認し、手でかきだせるか試みます。除去出来なかった場合の背部叩打法は、救助者の片腕に、うつぶせに乗せ、手のひらで乳児のあごを支えつつ、もう一方の手のひらの幹部で、背中の中を数回強く叩きましょう。

患者に反応がない場合、119番通報とAEDの手配をし、正常な呼吸があるか確認します。正常でなければただちに胸骨圧迫(心臓マッサージ)を強く、速く、絶え間なく行う事が重要となります。

強く

胸が少なくとも5cm 沈むように！小児・乳児は、胸の厚さの約 1/3 まで。

速く

1 分間あたり
100～120 回のテンポで！

絶え間なく

中断は、最小に！
血液が全身に
おくれなくなる。

【 事故防止 】

不慮の事故で亡くなる14歳以下の数は、年間で200人近くになります。3歳未満の口の大きさは4センチ、喉は1センチと小さく、色々な物に対しての興味から誤飲しやすく飲み込む力が弱いため窒息しやすい傾向にあります。近年、増えてきている事故として、ボタン電池を飲み込んでしまい、臓器が焼き焦げてしまう事例が報告されています。リモコンやおもちゃのふたのような開く可能性のある物はテープを貼って予防しましょう。また、公園のような遊具がある場所には、ひっかかりを無くすために、ヒモやフードがついている服は着て行かないなど、日常生活の中で事故防止に対しての工夫を取り入れると防げる事故も多くなります。

異変を感じた際、救急車を呼べばいいのか、病院に行ったらいいのか、判断に迷うときがあると思います。そんな時は専門家が相談に応じ対応してくれる電話窓口があり、緊急性を要している場合は#7119へ、夜間・休日のこどもの症状にどのように対処したらよいのかなどは#8000へ問い合わせしてみると良いでしょう。



＜＜ 参加者の声 ＞＞

- AEDがコンパクトになっていたし、使い易くなっていた。知らないおもちゃやシートがあって驚きました。何でも水に含むと大きくなるので胃腸に入るとこわいと感じました。
- 幼児の胸骨圧迫など、初めてだったので講習会に参加できて良かったです。
- AEDに、電気ショックが必要な時に自動で実行するオートショックのものが増えていた事に驚きました。受講した事があってもこういう情報の更新の為に随時、受講した方が良いと感じました。
- 救命講習を体験できて大変よく理解出来ました。どの話しも具体的で分かりやすかったです。

＜＜ 保育の様子 ＞＞



活動報告書より抜粋



散髪したの?と聞くと、お店でトムとジェリーを観た♪とうれしそうに答えてくれ、音がなくても笑える!と話してくれました。あれは大人もつい見ちゃいますね!

(8歳の男の子の援助者)

新しい絵は宇宙と地球だったので、「どうやって地球を描いたの?」と聞くとダンボールを使った描き方を教えてくれました。青、緑、水色、黄緑がすごくきれいで本当の地球のようでした。

(5歳の女の子の援助者)

〇〇ちゃん(妹)が〇〇ちゃん(姉)のリュックを背負いたがると貸してあげていました。〇〇ちゃん(妹)のシートベルトのチェックもしてくれて、しっかり者のお姉ちゃんです。

(4歳と2歳の姉妹の援助者)

ハイハイをする早さが速くなり、声かけすると近くに来てくれるのでとてもかわいいです。

体育で組体操の練習をした事やダンスの曲など色々話してくれました。少し踊ってみせてくれてかわいかったです。

(0歳の女の子と10歳の男の子の援助者)

プラレールに飽きることなく、7時のトトロの時計が鳴るまで並べて喜んでいました。トトロの時計は鳴ってほしいけどドキドキみたいで膝の上にすわったり、プラレールをしながらカウントダウンして鳴るのを待ちました。

(5歳の女の子の援助者)



ピアノの発表会にむけて練習が少しずつ進んでいます。頑張ってるレッスンを受けていました。

(6歳の女の子の援助者)

